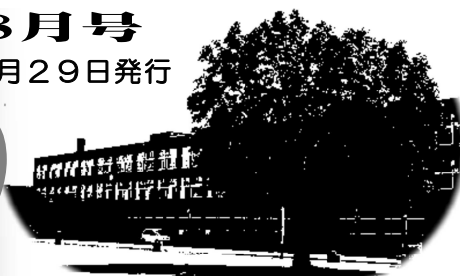




啓北だより

啓北中50年の底力:つなぎ、広げ、前へ



一步先を見て、誠実に行動する2学期に

校長 東 藤 義 文

長い夏休みが終わり、生徒の元気な顔がそろって、校舎には活気が戻りました。

この間、全国的な異常気象や自然災害のニュースに心を痛めましたが、旭川にあっては2学期のスタートに当たってタイミング良く猛暑から解放され、過ごしやすい気候になってきたことをありがたく感じます。

夏休み期間は補習や行事の準備を進める生徒が登校したり、新チームに移行した各部活動の熱心な練習が見られたりしました。その中で特筆されるのは、全道水泳に出場した飛弾野さんの3位入賞や吹奏楽部の全道大会出場権獲得です。心よりお祝いをします。

吹奏楽部は卒業生が抜けた穴を埋めるべく少人数の最上級生が奮闘しました。先輩から引き継がれた練習のあり方や目指す音に自分たちの努力を加えて、昨年に続く見事な演奏を披露し、「つなぎ、広げ、前へ」を実現しました。これが伝統の底力です。

私達には学習に生活により前例、よい手本があります。来月は啓北祭がありますが、各学年や仲間間で刺激し合って50周年の立派な「記念碑」が建てられることを期待します。

さて、私が夏休みに目にした記事を元にして、二つの話題を取り上げます。

学期の始まりにはよく「抱負」が求められます。そして、「なりたい自分」「今の自分」「目標実現のためにどうするか」などを書いて、廊下や教室に掲示します。

サッカー日本代表の三笥選手を知っていますか。彼も学生時代に、日本の代表、更には世界に羽ばたくための夢をもち、そのための努力目標と決意を具体的にびっちり書き込んだそうです。そして、手書きで丁寧に書いたシートと自分の姿を照らし合わせたそうです。とはいえ、どんな人でも弱いところはあるものです。

「頑張れない時はどうするか？」との問いに、三笥選手は「過去を思い出し、『それではダメだ』と心に言い聞かせる。『これで良いのか』と言い聞かせる」と書いていました。

もう一つ、タイの高僧アジャーン・パサーノの話です。彼は思想上、飲酒を禁じられていますが、クリスマス休暇で家族親戚が集まった時、いそこから「堅いことを言わずに」、続けて「誰も見ていないから…」と酒を勧められました。しかし、パサーノは…彼を見上げて、「僕が見ている」と答えたとそうです。

誰も誘惑には弱いものです。いつも正義を貫くのは大変です。しかし、誰よりも自分が一番、自分の行いを覚えているものです。将来に後ろめたい思いを残さないか、その行動は人を傷つけず、幸せにするものか、自分に責任をもちたいものです。

二つの話は、課題に対して自分のあり方を見つめ、目標に向かって粘り強く努力する力、目の前の誘惑に対して自分を律する力、すなわち誠実性の大切さを物語っています。

皆さんは1学期それぞれ成長しました。更に満足することなく「つなぎ、広げ、前へ」進む啓北中生であるために、次の3点を視点として自分を成長させてください。

- 1 想像力を働かせ、先を予想して行動しよう。
- 2 好きなことだけでなく、嫌なことも我慢強く取り組もう。
- 3 自分で考えてプランを立て、行動することを心がけよう。

長い2学期です。何より安全で健康的な生活を送り、誠実な自分を作りましょう。地域・保護者の皆様におかれましては、これまでと変わらぬご支援を賜りますようよろしくお願いいたします。

学校の働き方改革推進中

毎日、多くのお客さん(地域の方、業者の方、他校の先生方等)が啓北中学校を訪問されます。多くの方から、「先生方の仲がいいですね」、「啓北中の職員室は活力がありますね」などと、先生方や職員室の印象を聞かせていただくことがよくあり、大変うれしく思います。

先生方が健康で元気に働くことができる学校であれば、子どもに向き合う心のゆとりがもて、授業や行事等の準備にも力を入れることができ、子どもたちの健やかな成長のサポートをすることができます。

しかし、年々、自然災害や不審者の出没、価値観の多様化による学校への要望等が増え、一人の教員が対応する能力や時間に限界がきています。また、年々教員採用試験の倍率低下により、教員のなり手不足や教育の質の担保が懸念されています。そのため、文部科学省では、学校の働き方改革や部活動の地域展開を推進しています。本校では、先生方が子どもと向き合う時間を充実させ、質の高い教育活動ができるようにICTを効果的に活用した業務改善(校務DX)を積極的に推進しています。

啓北中の『先生の1日』

◎啓北中の先生方の勤務時間は、**8:05～16:35**です。



8:05

出勤・職員打合せ

＊学年の打合せ(欠席者、スケジュール、連絡・回収物・連絡事項等の確認)

8:20

生徒登校・朝読書

＊健康状態の観察、生徒と一緒に読書

8:30

学級指導(朝の会)

＊スケジュール確認、回収物等、連絡のない欠席者の家庭に電話確認

8:45

授業(1～4時間目)

＊休み時間：授業準備、生徒の見守り・相談、体調不良生徒の対応等

＊空き時間：単元テストの採点、回収物点検、生徒の相談対応等

12:35

給食準備・指導

＊手洗い・うがい等の健康指導、給食配膳、給食指導

13:05

昼休み

＊生徒の見守り、教育相談、授業準備等

13:25

授業(5～6時間目)

＊午前中と同様

15:15

学級指導

＊連絡事項の確認、健康・安全指導等

15:25

清掃

＊一緒に清掃活動

15:40

生徒下校

＊放課後は、職員会議、学年会議、分掌会議等

16:00

部活動指導

＊技術指導、見守り、ケガ等の対応等

16:35

退勤

＊多くの先生方は、部活動指導中のため**ボランティア残業(超過勤務)**へ

18:30

部活動終了・生徒の下校確認・活動場所の戸締まり

＊テスト採点、学年・学級通信作成、掲示物等作成、明日の授業準備、行事等の計画書作成、会議資料や校務分掌等の書類作成等

＊放課後にトラブル対応、保護者連絡、家庭訪問、報告書の作成等

＊**勤務時間が過ぎても退勤できないことが常態化している現状**

↓

【教員の残業時間の上限が設定】

(文部科学省・北海道教育委員会)

1ヶ月 45時間以内

1年間 360時間以内



★学校の働き方改革を推進するためには、保護者や地域のご理解とご協力が不可欠です。